

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月4日

上場会社名 株式会社 やまねメディカル  
 コード番号 2144 URL <http://www.yvmd.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月10日

上場取引所 大

(氏名) 山根 洋一  
 (氏名) 秋田 和美

TEL 03-5201-3995

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	3,723	—	688	—	679	—	379	—
20年3月期第3四半期	2,872	22.8	519	52.1	503	59.4	281	88.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	3,366.98	—
20年3月期第3四半期	12,447.04	—

(注)潜在株式1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	2,443	1,264	51.8	11,366.96
20年3月期	2,184	1,038	47.5	9,189.85

(参考)自己資本 21年3月期第3四半期 1,264百万円 20年3月期 1,038百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	900.00	900.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	1,000.00	1,000.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,866	25.1	794	23.6	780	25.4	429	23.6	3,820.98

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2)四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3)発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 113,300株 20年3月期 113,300株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 2,025株 20年3月期 320株  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 112,603株 20年3月期第3四半期 22,654株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。
3. 当社は、平成20年2月1日付で1株を5株とする株式分割を行っております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、米国金融市場におけるサブプライムローン問題に端を発した国際的な金融危機が世界的な株価下落や円高の進行を招き、生産調整や雇用調整など実体経済への影響による景気後退の様相が急速に加速してまいりました。一方、介護業界においては、高齢社会の急速な進行に伴い着実な介護市場の成長を持続いたしました。

このような状況のもと、当社は介護を要する高齢者の「尊厳の保持」及び「自立支援」を重視しつつ、ご利用者及びご家族のご満足をさらに増進するため、介護技術及びノウハウの高度化によるベストサービスの提供に一段と注力いたしました。それとともに緻密なマネジメントの推進と教育育成活動の強化を通じて、事業運営全般にわたる生産性の向上に努めました。

また、通所介護事業において、平成20年10月に東京都世田谷区にデイサービスセンター（以下「DS」といいます）なごやか自由が丘を、11月に東京都港区にDSなごやか南青山を、12月に東京都武蔵野市にDSなごやか三鷹をそれぞれ開設して、事業成長の基盤を強化拡充いたしました。このように、当第3四半期会計期間中に3施設を新規開設いたしました結果、当第3四半期会計期間末において63箇所の直営DSを展開しております。

フランチャイズ事業においては、当第3四半期会計期間末において、6箇所のフランチャイズによるDSを展開しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間（9か月）の当社の損益状況につきましては、営業収入は3,723,500千円、営業利益688,964千円、経常利益679,781千円、四半期純利益は379,132千円となりました。

また、当第3四半期会計期間（3か月）につきましては、営業収入は1,314,660千円、営業利益258,550千円、経常利益255,911千円、四半期純利益は140,820千円となりました。

なお、前年同期業績及び比較増減については、参考として記載しております。

（第3四半期累計期間）（9か月）

（単位：千円）

	平成20年3月期 自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日	平成21年3月期 自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日	比較増減	比較増減 (%)
営業収入	2,872,095	3,723,500	851,405	29.6
営業利益	519,773	688,964	169,191	32.6
経常利益	503,378	679,781	176,402	35.0
四半期純利益	281,975	379,132	97,156	34.5

（第3四半期会計期間）（3か月）

（単位：千円）

	平成20年3月期 自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日	平成21年3月期 自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日	比較増減	比較増減 (%)
営業収入	1,019,336	1,314,660	295,323	29.0
営業利益	169,544	258,550	89,006	52.5
経常利益	164,972	255,911	90,939	55.1
四半期純利益	97,843	140,820	42,977	43.9

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### （1）資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における資産合計は、2,443,777千円（前年同期比20.5%増）となりました。資産の内訳につきましては、流動資産が1,312,503千円（前年同期比14.3%増）、固定資産が1,131,273千円（前年同期比28.6%増）であります。また、負債合計は、1,178,918千円（前年同期比11.8%増）となりました。負債の内訳につきましては、流動負債が1,077,863千円（前年同期比41.7%増）、固定負債が101,055千円（前年同期比65.6%減）であります。純資産合計は、1,264,858千円（前年同期比30.1%増）であり、これは主として利益剰余金の増加によるものであります。

なお、前年同期比については、参考として記載しております。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、351,348千円となりました。当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、266,988千円となりました。

これは主に、既存施設の利用者数の順調な増加及び新規施設の開設により営業未収入金が増加したことによる売上債権の増加172,343千円、法人税等の支払額306,329千円の支出などがあったものの、通所介護事業の業績が堅調に推移したことによる税引前四半期純利益の計上が685,093千円あった結果によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、257,067千円となりました。

これは主に、通所介護事業のための新規施設の開設による有形固定資産の取得による支出133,949千円及び同じく新規施設の開設による敷金の差入による支出102,980千円等があった結果によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、108,206千円となりました。

これは主に、短期借入金による280,000千円の資金の増加がありましたが、配当金の支払額101,682千円、長期借入金の返済による支出234,667千円等による支出があった結果によるものであります。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、既ね計画通りの推移となっておりますので、「平成20年3月期決算短信」にて発表いたしました平成20年5月12日付公表の業績予想から変更はございません。

## 4. その他

### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

### (3) 四半期連結財務諸表について

四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高等から見て、当企業集団の財政状態及び経営成績に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次のとおりであります。

資産基準	1.3%
売上高基準	0.0%
利益基準	0.0%
利益剰余金基準	△1.1%

※会社間項目の消去後の数値により算出しております。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	351,348	449,633
営業未収入金	878,946	706,603
その他	85,243	89,756
貸倒引当金	△3,035	△1,542
流動資産合計	1,312,503	1,244,451
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	704,085	607,327
その他(純額)	48,428	65,053
有形固定資産合計	752,514	672,380
無形固定資産	9,197	10,387
投資その他の資産		
敷金及び保証金	293,457	190,716
その他	76,103	66,795
投資その他の資産合計	369,561	257,512
固定資産合計	1,131,273	940,280
資産合計	2,443,777	2,184,732
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	20,737	16,590
短期借入金	400,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	192,062	324,379
未払法人税等	159,959	183,495
賞与引当金	—	35,945
その他	305,105	262,647
流動負債合計	1,077,863	943,058
固定負債		
長期借入金	101,055	203,405
固定負債合計	101,055	203,405
負債合計	1,178,918	1,146,463

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	304,375	304,375
資本剰余金	254,375	254,375
利益剰余金	771,869	494,419
自己株式	△65,761	△13,904
株主資本合計	1,264,858	1,039,265
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△996
評価・換算差額等合計	—	△996
純資産合計	1,264,858	1,038,268
負債純資産合計	2,443,777	2,184,732

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業収入	3,723,500
営業原価	2,710,105
営業総利益	1,013,395
販売費及び一般管理費	324,430
営業利益	688,964
営業外収益	
受取利息	366
受取補償金	5,324
助成金収入	390
受取手数料	1,411
雑収入	325
営業外収益合計	7,817
営業外費用	
支払利息	11,013
解約手数料	4,868
雑損失	1,118
営業外費用合計	17,000
経常利益	679,781
特別利益	
受取和解金	9,164
特別利益合計	9,164
特別損失	
固定資産除却損	834
投資有価証券売却損	1,922
損害賠償金	1,095
特別損失合計	3,852
税引前四半期純利益	685,093
法人税、住民税及び事業税	284,500
法人税等調整額	21,461
法人税等合計	305,961
四半期純利益	379,132

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
営業収入	1,314,660
営業原価	943,113
営業総利益	371,546
販売費及び一般管理費	112,995
営業利益	258,550
営業外収益	
受取補償金	5,324
受取手数料	245
雑収入	241
営業外収益合計	5,811
営業外費用	
支払利息	3,238
解約手数料	4,868
雑損失	343
営業外費用合計	8,450
経常利益	255,911
特別損失	
固定資産除却損	13
損害賠償金	795
特別損失合計	808
税引前四半期純利益	255,103
法人税、住民税及び事業税	91,000
法人税等調整額	23,283
法人税等合計	114,283
四半期純利益	140,820

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	685,093
減価償却費	56,325
長期前払費用償却額	8,912
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,493
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35,945
受取利息及び受取配当金	△366
支払利息	11,013
受取補償金	△5,324
解約手数料	4,868
有形固定資産除却損	834
投資有価証券売却損益 (△は益)	1,922
受取和解金	△9,164
損害賠償損失	1,095
売上債権の増減額 (△は増加)	△172,343
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,146
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△16,278
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	40,055
小計	576,340
利息及び配当金の受取額	366
利息の支払額	△11,983
補償金の受取額	5,324
違約金の支払額	△4,868
和解金の受取額	9,164
損害賠償金の支払額	△1,095
法人税等の還付額	69
法人税等の支払額	△306,329
営業活動によるキャッシュ・フロー	266,988
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△133,949
無形固定資産の取得による支出	△1,500
投資有価証券の売却による収入	3,037
敷金の差入による支出	△102,980
敷金の回収による収入	210
長期前払費用の取得による支出	△21,884
投資活動によるキャッシュ・フロー	△257,067
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	280,000
長期借入金の返済による支出	△234,667
自己株式の取得による支出	△51,857
配当金の支払額	△101,682
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,206
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△98,285
現金及び現金同等物の期首残高	449,633
現金及び現金同等物の四半期末残高	351,348



当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前四半期に係る財務諸表

## (要約) 四半期損益計算書

前第3四半期累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業収入	2,872,095
II 営業原価	2,083,451
営業総利益	788,643
III 販売費及び一般管理費	268,870
営業利益	519,773
IV 営業外収益	
1. 受取利息	721
2. 受取配当金	160
3. 受取手数料	815
4. 助成金収入	456
5. 受取保険金	282
6. 雑収入	571
営業外収益合計	3,007
V 営業外費用	
1. 支払利息	17,623
2. 雑損失	1,778
営業外費用合計	19,401
経常利益	503,378
VI 特別利益	—
VII 特別損失	1,166
税引前四半期純利益	502,212
法人税、住民税及び事業税	197,595
法人税等調整額	22,641
法人税等合計	220,237
四半期純利益	281,975

## 「参考資料」

## 前四半期に係る連結財務諸表

## (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	502,517
減価償却費	39,061
長期前払費用償却額	11,283
貸倒引当金の増減額(△は減少)	54
賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,627
受取利息及び受取配当金	△911
支払利息	17,623
有形固定資産除却損	626
損害賠償損失	400
売上債権の増減額(△は増加)	△109,703
仕入債務の増減額(△は減少)	1,378
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△20,561
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△61,755
小計	349,386
利息及び配当金の受取額	911
利息の支払額	△17,521
損害賠償金の支払額	△400
法人税等の支払額	△286,839
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,537
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△150,321
無形固定資産の取得による支出	△1,520
敷金の差入による支出	△83,225
敷金の回収による収入	300
その他	△15,616
投資活動によるキャッシュ・フロー	△250,383

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	90,000
長期借入金の返済による支出	△474,184
自己株式の取得による支出	△13,904
配当金の支払額	△22,660
財務活動によるキャッシュ・フロー	△420,748
Ⅳ 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△625,594
Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高	1,066,028
Ⅵ 現金及び現金同等物の中間期末残高	440,433

## 6. その他の情報

### 「参考資料」

(自己株式の取得について)

当社は平成21年2月4日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について決議し、自己株式の取得を以下のとおり実施いたします。

自己株式取得に関する取締役会の決議内容

- ① 取得する株式の種類  
当社普通株式
- ② 取得する株式の総数  
2,500株(上限)
- ③ 取得する期間  
平成21年2月5日から平成21年3月24日まで
- ④ 取得価額の総額  
115,000千円(上限)
- ⑤ 取得の方法  
大阪証券取引所の立会時間内における普通取引による取得